

北海道身体障害者新聞

発行人 (社団)北海道身体障害者福祉協会会長 赤坂 勝
札幌市中央区北二条西7丁目(かでの2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
ホームページ www.hokusinkyo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円 (会費を含む)
非会員 同 2,000円

東日本大震災に遭われた皆様へ

心からお見舞い申し上げます

この度の東日本大震災により被害を受けた皆様から心からお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧・復興と皆様の健康を心からお祈り申し上げます。

現在、(社)北海道身体障害者福祉協会(会長 赤坂 勝)では、この度の東日本大震災で被災された身体障害者の方々に対するお見舞いとして寄せられる義援金を受け付けています。地域での義援金の取りまとめは、各加盟団体(各地域の身体障害者福祉協会)にお願いしていますので、多くの方からの義援金をお待ちしています。義援金は七月二十九日まで受付けています。

【大震災の現況】

既に報道されているように平成二十三年三月十一日午後二時四十六分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上、最大のマグニチュード9.0の地震が発生し、津波、火災などにより被害は広範囲で、甚大なものとなっております。また、福島第一原発と第二原発周辺には、避難指示や屋内退避指示が出されています。警察庁のまとめによると地震発生から二十二日目を迎えた四月一日時点で、死者は一万五千七百七十八人、家族から届出のあった行方不明者は一万六千四百五十一人で合わせて二万八千二十九人が犠牲となっております。また建物被害は全壊・流出が二万戸以上となっており、極めて大きな被害となった岩手県、宮城県、福島県を含めた十七都府県の二千二百三十一所の避難所には十七万人以上が避難生活を余儀なくされています。この中で障がい者に関する情報は少なく現地情報によると、現在も安否確認が続いています。

【日身連・北身協の取組み】

このような被災の広大さ、甚大さに鑑み(社)日本身体障害者団体連合会(会長小川榮一)では、

- 事務局長 泉 司
- センター所長 古館 一雄
- 書記 松本美由紀
- 書記 引地 朋子
- 書記 川村 真

北身協事務局体制

この四月から北身協事務局が新体制でスタートしました。担当者ごとの事務分掌は次のとおりです。お知らせいたします。なお、新任職員も多いため会員の皆さんにはご指導を頂くことも多いと思いますが、この一年間、事務局全員が一生懸命に取り組まします。よろしくお願ひいたします。

(職員紹介)

- 事務局長 泉 司
- センター所長 古館 一雄
- 書記 松本美由紀
- 書記 引地 朋子
- 書記 川村 真

北身協事務局事務分掌

平成23年4月1日現在

担当	事務分掌
泉事務局長	01 事務局の総括に関する事
	02 協会の組織強化活動に関する事
	03 会長印の保管管理に関する事
	04 奨学金運営事業に関する事
	05 協会の自主財源の確保に関する事
	06 日身連との相互協力と連携に関する事
	07 総会、理事会、監事会、正副会長会議に関する事
	08 東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会に関する事
	09 法人の運営・法人改革に関する事
古館センター所長	01 障害者社会参加推進協議会に関する事
	02 「障がい者110番」運営事業(委託事業)
	03 身体・知的障害者相談員専門研修事業(委託事業)
	04 東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会に関する事
	05 身体障害者相談員連絡協議会に関する事
	06 「北海道身体障害者新聞」の発行に関する事
松本書記	01 職員の福利厚生に関する事
	02 一般会計及び特別会計の経理事務に関する事
	03 全国・全道身体障害者福祉大会に関する事
	04 身体障害者福祉総合推進事業補助金に関する事
	05 障害者社会参加推進センター運営事業補助金に関する事
	06 委託料に関する事
引地書記	01 要約筆記奉仕員養成事業に関する事(委託事業)
	02 要約筆記技術研修事業(会議開催事業)に関する事
	03 盲ろう者通訳・介助員派遣事業(委託事業)
	04 パソコン貸与事業に関する事
	05 ホームページに関する事
	06 文書管理に関する事
	07 行事予定に関する事
	08 ガイドヘルパーネットワーク事業(委託事業)
川村書記	01 身体・知的障害者生活訓練事業(委託事業)
	02 「障がい者110番」運営事業(委託事業)の補助
	03 雇用促進・社会参加支援事業に関する事
	04 加盟団体事務担当者会議に関する事
	05 パソコン教室開催事業に関する事
	06 パソコンボランティア派遣事業に関する事
	07 J Rジバンク倶楽部に関する事
	08 第3種郵便に関する事
	09 日身連収益事業への協力に関する事

第四回理事会を開催

三月八日(火)午後、北身協は札幌市内で第四回理事会を開催した。概要は次のとおり。

【概要】

■会長挨拶要旨
最初に赤坂会長から和田事務局長が、本日付けで退職される事が報告され、これまでの労苦に対して謝辞があった。続いて理事、監事の方々に新事務局体制への協力要請があった。



第4回理事会で審議中の役員の方々

■理事会審議議案

- ①平成二十二年決算見込み
- ②平成二十三年事業計画案
- ③平成二十二年収支予算案(暫定予算案)
- ④その他、次の理事会・通常総会の開催日程など

■審議結果と主な内容

議案は全て提案どおり了承された。なお、平成二十三年度は大変厳しい現状認識のもと加盟団体活性化のための事業支援(雇用促進・社会参加支援事業)の実施、公益法人改革への対応検討、協会運営の基盤づくりの検討(加盟団体の会費算定基準の検討)を進めるとともに、平成二十三年度の事業計画案、予算案(暫定予算案)が了承された。なお、今後の北身協の公益法人改革については、公益社団を目指すこと又は一般社団を向け検討することとなった。なお、出席理事からは、「公益社団となつて欲しい」などの意見も出された。

通訳・介助員現任研修

北身協は、三月十四日(月)、札幌市内で盲ろう者通訳・介助員現任研修を開催した。当日は、東日本大震災の影響で講師の村岡美和さん(全国盲ろう者協会)が来札できなくなったため急遽、研修内容を変更し開催された。

【開催概要】

当日は、二十名の盲ろう者通訳・介助員が出席し、最初に主催者である北身協の泉 司事務局長から「今日の講義や意見交換を実り多いものにして欲しい」と挨拶があった。続いて北海道(障がい者保健福祉課)の北山主任から「障がい者福祉制度及び派遣事業の概要」と題し、詳しい説明があった。続いて意見交換会が行われ、出された要望等は次のとおり。
▽派遣依頼の日は都合が悪い」と誤って扱われ、利用者に迷惑がかかったので注意してほしい。
▽研修講師の地元確保と講師養成の経済的支援を要望など。

社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区南三条西六丁目
電話代表(011)241-0986番

札幌義肢製作所旭川支店
支店長 舛田裕司
旭川市五条通十二丁目
電話(0166)241-533番

有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(011)221-1406番

有限会社 河笠義肢製作所
小樽市長橋四丁目七番二十九号
電話(0134)221-3042番
(0134)317-002番

株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五の二
札幌市北二条七丁目
室蘭市母恋北町一三の六
網走市富士見一五の九
電話(011)274-1303番
(0143)321-5529番
(0154)411-3546番

株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(011)241-0127番
帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(0155)271-2489番

有限会社 三愛義肢製作所
代表取締役 柏崎力ネ
岩見沢市志文町九二三番地二六
電話(0125)221-2643番

株式会社 協和義肢製作所
岩見沢市三条西八丁目
電話(0125)221-3739番
FAX(0125)221-4761番

有限会社 美唄義肢製作所
代表取締役 松田清勝
美唄市東七条北四丁目七番九号
電話(0126)621-0931番

有限会社 千葉義肢製作所
釧路市若草町七番二号
電話(0154)221-0381番
FAX(0154)251-9588番

【お知らせ】平成23年度 第49回北海道障害者スポーツ大会の概要

Table with 10 rows and 2 columns. Row 1: 目的 (Objective) - 障がいのある選手が、障がい者スポーツの全道的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを経験するとともに、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。 Row 2: 主催 (Organizer) - 北海道障害者スポーツ振興協会・北海道・富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村. Row 3: 開催市町村 (Hosts) - 富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村. Row 4: 大会期日 (Dates) - 平成23年10月2日(日) 全8競技. Row 5: 開・閉会式及び実施競技・会場 (Events/Venues) - 開会式・閉会式……各競技会場において開催する。実施競技【個人競技】①陸上競技(身体・知的) 富良野陸上競技場【富良野市】②車椅子バスケットボール(身体) 富良野スポーツセンター【富良野市】③フロアバレーボール(身体) 中富良野町総合スポーツセンター【中富良野町】④サッカー(知的) 富良野河川少年サッカー場【富良野市】⑤バレーボール(知的) 占冠中学校体育館【占冠村】⑥バスケットボール(知的) 富良野東中学校体育館【富良野市】富良野西中学校体育館【富良野市】⑦ソフトボール(知的) 上富良野町島津球場【上富良野町】⑧フットベースボール(知的) 南富良野町湖畔球場【南富良野町】代表者・監督者会議……大会当日の開会式前に各競技場において開催する。 Row 6: 参加資格 (Eligibility) - 出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。ただし、フロアバレーボールは、チーム編成が困難な場合に限り、特例として晴眼者の出場を認める。①平成23年4月1日現在、15歳以上の身体障害者及び知的障害者。②身体障害者は身体障害者手帳の交付を受けた者。知的障害者は療育手帳の交付を受けた者。あるいはその取得の対象に準ずる障害のある者。③道内に現住所を有する者。ただし、道内の更生援護施設等に入所、通所、通学している者は、その所在地の市町村から参加しても差し支えない。 Row 7: 申込期限 (Deadline) - 平成23年5月31日(火) 必着. Row 8: 表彰 (Awards) - 1位から3位までに入賞した選手及びチームに対し入賞メダルを授与する。 Row 9: 参加料 (Fees) - 参加料は、陸上競技・団体競技ともに、選手1名につき1,000円とする。 Row 10: 問合せ先 (Contact) - 本大会に関する問合せは、次のところをお願いします。主催団体 北海道障害者スポーツ振興協会 電話 011-261-6970 大会事務局 富良野市保健福祉部福祉課 電話 0167-39-2211

要望事項と回答(終り)

先月に引き続き全道大会(夕張大会)に提出・採択、その後、検討整理された要望事項と回答(概要)をお知らせします。

【要望五】各市町村からは活字による生活上必需の様々な広報誌が出されていますが、重度の視覚障がい者の多くはこれを読むことができません。しかし、点訳する、音訳する、SPコードをつける等の手段により、重度の視覚障がい者にもその内容を伝えることができます。道は、各市町村に対し広報誌等の内容を上記の手段により視覚障がい者にも伝えるように積極的な指導を行なってください。(社)北海道視覚障害者福祉連合会

【回答】活字等による情報の入手に困難を伴う視覚障がいのある方々に対し、行政の動きや市町村の現状等について、内容の周知を図っていくのは非常に重要であることから、障がいのある方々に十分配慮した様々な手法による広報の取組みがさらに広がるよう、市町村へ働きかけてまいりたいと考えています。

ある方々に十分配慮した様々な手法による広報の取組みがさらに広がるよう、市町村へ働きかけてまいりたいと考えています。

【回答 北海道】今大会において「障がい者相談員制度の活用と充実を要望する」との決議が採択されました。また、「北海道障がい者条例」においては、障がい者相談員が一定の役割を担うことが要請されています。しかしながら、ほとんどの市町村において障がい者に関する情報は相談員に知らされておらず相談員としての役割を果たせていないのが実状です。必要な相談支援が実施されるために、相談員が地域の障がい者を把握できるように適切な情報の提供について、市町村を指導していただきます。(宗谷地区身体障害者福祉協会)

【回答】「北海道障がい者条例(略称)」の目的である障がい者(児)の権利を擁護し、障がい者(児)が暮らしやすい地域づくりを推進するためには、市町村をはじめ関係者、関係機関と協力して地域における相談支援体制を確保していくことが重要であることから障害者相談員制度の活用などを含めて、相談支援推進体制についての検討を進めているところです。障がい者情報の提供については、個人情報保護の問題などから難しい面もありますが、道といたしましては、障害者相談員の活動がしやすくなるよう、市町村に対して必要な働きかけを行なってまいりたいと考えています。(市町村広報誌等による相談員の周知、市町村に対する障害者相談員の活用等の依頼)【回答 北海道】

困りごと、悩みごとは「障がい者一〇番」へ

内容によっては弁護士相談を無料でお受けしています。電話 011-251-2333 FAX 011-251-2335

青い鳥郵便葉書無償配布

今年も、重度の身体及び知的障がい者を対象とした郵便葉書の無償配布が行われています。これは郵便事業株式会社が障がい者の福祉に対する国民の理解と認識をさらに深めることを目的に実施しているものです。なお、無償配布の主な内容等は次のとおりです。

■配布の対象
・重度の身体障がい者(一級又は二級の方)
・重度の知的障がい者(療育手帳に「A」又は一度、二度と表記されている方)

■受付期間
四月一日から五月三十一日まで

■配布枚数
一人につき二十枚

■申出の方法
最寄の郵便局(簡易郵便局を除く)に障害者手帳又は療育手帳を提示し、所定の用紙に必要事項を記入して申し出る。

年間優秀作品発表

平成二十二年度に本紙に掲載された文芸作品(短歌百十一、俳句六十七、川柳百二十四)について、各選者に選考をいたした結果、次のとおり優秀作品が決定しました。入選された皆様、おめでとうございます。

短歌

伊達市 吉川 次子
子や孫よ孫も来いよと呼びかけて
夫は居眠るおせちを前に
【選評】 選者 内田 弘
(北海道歌人会事務局長)

素直な気持ちがよく出た作品だ。気負わずに自然体で、思わず口に出たような息が感じられた。思わず読む者をほのぼのとした気持ちにさせる。何よりも

文芸

短歌

滝上町 清水美知江
すこやかに明るくひがまぬ日々なれと
八十路になりし吾れ心得
購ひし喜び想ひつれ分なす
身辺整理の日毎あれこれ
とび出しは怖いと思ひつれハンドルを
今宵は見えぬ鹿のファミリ
車椅子の音軋ませつ集ひたる
共に詠まむと園生の笑顔を
ペークライトの十八金よと万年筆
宝のごとく手入れなす父

川柳 恵庭市 西島 明
舷灯の指呼の国境春遅々と
木の影に踊る老や春霞
朧夜や靴の踵の返射光

北広島市 本多 司
養生訓護り長寿の石の上
リサイクル枯れ木に花と子に教え
穏やかな余生に夢の葛折り
江戸の華ツリ人気が世界一
春鯉群来に浜沸く大漁節
阿鼻叫喚みちのく揺らぐ大惨事

江別市 戸原 寿夫
小鳥の動きにはげし冬木立
街路樹はこぶし突き上げ雲の人
からからの土かりかりの霜柱
大寒を開き直って迎へけり

「ありのまま」が「自然に」表現されている。短歌はこうありたいものだ。

俳句 恵庭市 西島 明
鳥帰る湖の助走を風にして
【選評】 選者 木村 敏男
(北海道俳句協会顧問)

湖の助走を「風にして」と捉えた表現がよい。

北広島市 本多 司
世界一長寿介護に泣く日本
【選評】 選者 浪越 靖政
(北海道川柳連盟事務局長)

世界一の長寿国である我が国を誇りたいが、財政難のため福祉政策のついでにいけないのが哀しい。こんな現実を上手く風刺した。

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店- 岩崎電子 補聴器センター
本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル
お問い合わせ 0120-231-282
本社 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

印刷・クリーニング・縫製のご用命は 社会福祉法人 北海道リハビリ
障害者支援施設 リハビリ・エイト
身体障害者授産施設 リハビリ・クリーナーズ
障害福祉サービス事業所 リハビリ・おおぞら
障害者支援施設 札幌ワークセンター
地域活動支援センター ポールス
障害福祉サービス事業所 セルプさっぽろ (ウエルプラザやまはな)
施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人事務所 北広島市西の里507番地1 TEL (011) 375-2111(代) FAX (011) 375-4051

NISSIN ニッシン自動車工業 北海道
岩見沢市志文町九二二二二二六
電話 (011) 261-2333 011-261-0805

HOP ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階
TEL (011) 748-1622
FAX (011) 748-1621

クリーニングは光生舎 光生舎 クリーナーズ 光生舎 ワークショップ 光生舎 エルムクリーニング 光生舎 ライトスラザ 光生舎 メディック・エル 光生舎 クリーンセブン 光生舎 スラザインサッポロ 光生舎 虹の星 光生舎 虹の星サービスセンター 光生舎 フーレビラ ケアハウス すいこう
○施設の利用を希望される方はお気軽にご相談下さい。
連絡先 (社)北海道光生舎 電話 0125-32-3221 担当 厚生部

LP ライフパス 株式会社
札幌市北區篠路一条八丁目六番三〇号
電話 (011) 772-1471
FAX (011) 772-1471

岩見沢市緑が丘二丁目八六番地八
電話代表 (011) 261-2333 011-261-0805